

プログラム③

キミもアーティスト

ねらい

- モノの感じ方や表現の仕方は人によって違うということを知る。
- モノの感じ方や表現は人それぞれ違うことが個性なので、自分らしく楽しむことに気づく。

実施時間	60分	対象学年	小学校1年生～中学生	実施人数	20～30人
------	-----	------	------------	------	--------

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
導入 23分	<b>1.講師あいさつを行う。</b>  1) プログラム開始のあいさつや担当講師の自己紹介を行う。(2分)  ①担当講師の自己紹介や、プログラムの概要の提示などを行い、参加者が緊張せずに楽しんで取り組めるよう働きかける。	皆さんこんにちは。私の名前は〇〇です。 普段は●●●●をしています。今日はこのプログラムの講師を担当します。よろしくお願いします。  今日のプログラムは教科書を使ういつもの学校の授業とは少し違います。 クイズやグループでのワークをしながら、それぞれの人が考えたことや感じたことを大切にしていきたいと思っています。それでは始めましょう。
	<b>2.それぞれの違った感じ方を楽しみ、参加意欲を高める。</b>  1) 写真を使って、参加者にいつもとは異なる視点を提示する。(21分)  <div>準備物</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・写真カード(写真①～⑥)</li></ul> <div>ワーク</div> <p>①画像の一部を拡大した写真①・②・③を提示し、何に見えるかを自由に発言させる。(3分) ※発言は挙手によるものではなく、自由に発言をしてよいということを伝え、発言が出てこない場合は、講師が3、4人に発表を呼びかける。</p> <div></div> <p>写真①                      写真②                      写真③ ※参加者が答えを想像しやすい写真①から提示をする。</p> <p>②写真④・⑤・⑥(写真①・②・③を縮小したもの)を提示し、拡大した一部を見るととき全体を見るときとはモノの印象が変わることを伝える。(3分)</p> <div></div> <p>写真④                      写真⑤                      写真⑥</p>	今日、初めて会う人もたくさんいますよね。 皆さん緊張していますか？(2～3秒ほど待つ)  皆さんの緊張をほぐすために、クイズを用意してきました。  この写真は何が写っていると思いますか？ <div>写真①を提示する</div> (自由に発言をさせる) なるほど。では、次いきますよ。これはなんだと思いますか？ <div>写真②を提示する</div> (自由に発言をさせる) では、最後ですよ。これはなんだと思いますか？ <div>写真③を提示する</div> 最後は少し難しかったかな？ では、さっそく答え合わせをします。  始めの写真は <div>写真④を提示する</div> これでした。これはなんですか？  そうですね。ペンギンです。  2番目の写真は <div>写真⑤を提示する</div> これでした。何が映ってる？ どこか広いところ、時間は夕方かな？ キリンが映っていますね。

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
導入 23分 の 続 き	<p>③3枚の④・⑤・⑥の写真から好きなものを1枚選ばせ、自分が感じたイメージで写真のタイトルを考えさせる。(6分)</p> <p>※参加者がタイトルのつけ方や発表の仕方などに迷わないように、講師の考えたものをサンプルとして紹介するとよい。</p> <p>④考えたタイトルを参加者から任意で発表させる。1つの写真につき3～5ほどのタイトルを発表させる。(8分)</p> <p>※発表内容としては、選んだ写真・自分が考えた写真のタイトル・そのタイトルにした理由の3点を発表させる。なお、理由については発表のできる参加者のみで良い。</p> <p>※参加者の中からの発表が少ないようであれば、講師が参加者を指名してもよい。その際には、発表者の学年などに偏りがないように配慮する。</p> <p>※全ての写真について、参加者の考えたタイトルを確認することができるように、発表の内容が偏ってきたら、「写真⑥を選んだ人はいませんか」などと番号を指定して調節をする。</p> <p>2) 同じ写真でも、見る人の「感じ方」や「考え方」によって写真からイメージすることが異なることを確認する。(1分)</p>	<p>そして最後の写真は</p> <div data-bbox="739 254 1330 298" style="background-color: #0072bc; color: white; padding: 5px; text-align: center;">写真⑥を提示する</div> <p>これです。これは何ですか？ アザラシでした。</p> <p>始めの3枚を見たとき、皆さんは同じ写真を見てるののに、違う意見が出てきましたね。特に3番目の写真はいろいろな意見が出ました。</p> <p>また、同じものを見ていても(写真③を指しながら)一部を大きくして見るとときと、(写真⑥を指しながら)全部の姿を見るとときとは、印象が全く違いましたね。</p> <p>では皆さんはこの3枚のうちどの写真が好きですか？好きな写真を1枚選んでください。</p> <p>「④が好きだよ」という人、手を挙げてください。 「⑤が好きだよ」という人、手を挙げてください。 最後、「⑥が好きだよ」という人、手を挙げてください。</p> <p>皆さん、好きな写真を選ぶことができましたね。 それでは、次は、今選んだ写真にタイトルをつけてみましょう。少し難しいかなと思ったので、私(講師)も1枚選んでタイトルをつけてみました。 私の選んだ写真はペンギンの写真です。 2羽のペンギンがお話をしているように見えたので、何のお話をしてるのかなと考えました。おやつのお話をしているような気がしたので、タイトルは「今日のおやつは何かな」にしました。</p> <p>皆さんもこんな風に、それぞれの写真からイメージしたことを自由にタイトルにして発表をしてくださいね。2分で考えてください。</p> <p>では発表してもらいましょう。 発表では、選んだ写真とそのタイトル、そして、そのタイトルにした理由もみんなに伝えてほしいと思います。誰か発表をしてもらえますか？ (挙手を求め、なければ講師が指名する)</p> <p>何番を選びましたか？ ○番ですね。なんというタイトルをつけましたか？</p> <div data-bbox="739 1334 1330 1377" style="background-color: #0072bc; color: white; padding: 5px; text-align: center;">提示した写真の下に発表されたタイトルを書き込む</div> <p>このタイトルをつけた理由は、なんですか？ なるほど。 (参加者の発表に対し何らかのコメントをし、全員に拍手を促す)</p> <p>ほかに発表できる人はいますか？</p> <p>3枚の中で自分が好きだと思う写真はそれぞれですが、同じ写真を選んでいても、人によってにつけるタイトルが違いましたね。 それは皆さんそれぞれの「感じ方」「考え方」が違うからです。自分の「感じ方」「考え方」を表現することができる、これはアーティストの第一歩です！私は皆さんそれぞれの「感じ方」「考え方」を大切にしたいと考えています。</p>
展開 35分	<p>3.ワークを通して人それぞれモノの感じ方や表現の仕方が違うということを理解する。</p> <p>1) 与えられた言葉へのイメージは人によってそれぞれ違い、表現の仕方も違うということを理解させる。(35分)</p>	<p>では次のワークで、みんなのアーティストへの道をさらに進めてみましょう。</p> <p>まず、グループでリーダーを1人決めてください。</p>

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
	<p><b>準備物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート (A3用紙)</li> <li>・グループに1セットのカラーマーカー</li> <li>・感想カードとしての付箋を各グループにグループの人数×グループの人数より1人少ない数 (例: 5人グループだと5×4で20枚)</li> </ul> <p><b>ワーク</b></p> <p>①「わくわく・どきどき」をタイトルに ○(まる) モチーフだけで表現させる。 (6分)</p> <p>※講師は各グループを見て回り、各自ワークがうまく進行しているかを確認する。 <u>○以外のモチーフを使っている参加者がいたら、使って良いモチーフは○だけであることを伝える。</u></p> <p>※表現が困難で、描くことができていない参加者にはまず用紙のどこかに、好きな色で好きな大きさの○を描くことから提案する。</p> <p>②表現した絵に「タイトル」をつけ、この絵はどんな「わくわく・どきどき」を表現したのかを、ワークシートにまとめさせる。 (8分)</p> <p>※参加者が記入する内容に迷わないように、講師が書いたものをサンプルとして紹介するとよい。</p> <p>※講師は文章を書けていない参加者がいる場合には描いた絵を見せてもらい、「これは何?」や「「わくわく・どきどき」ってどんなイメージ?」「どうしてここはこんなふうに描いたの?」など何か発言を導き、文書作成のヒントを与える。発言をそのまま書かせても良い。</p> <p>③グループ内で作品を紹介させ、発表を聞いた後、感想カード(付箋)に感想を書かせる。 (9分)</p> <p>※低学年など、発表が困難な参加者がいた場合、書いた文章を読むだけでよいことを伝え、発言をさせる。</p> <p>※感想カードを書く時間は発表者の発表が終わったらそのつど各グループに指示する。</p> <p>④講師がグループから1, 2人の発表を呼びかけ、③について全体で共有する。 (3分)</p> <p>※発表したい参加者がいなかった場合、リーダーと、もう1人はリーダーに指名させてもよい。</p> <p>発表したい参加者が多い場合、時間の許す限り、発表させる。</p> <p>※発表者の絵は黒板・ホワイトボードなどに掲示し、一覧で見れるようにする。</p>	<p>ワークシートは1人1枚ありますか? ワークシートのない人はいませんか? 足りないグループがあれば取りに来てください。</p> <p>皆さん、「わくわく・どきどき」したことはありますか? どんなときに「わくわく・どきどきしましたか?」 (何人かに発言をさせてもよい。)</p> <p>皆さんが感じた「わくわく・どきどき」を今から皆さんのワークシート&lt;あなたのわくわく・どきどきを表現しよう&gt;に○(まる) だけで描いて表現してほしいと思います。</p> <p>実は、皆さんにこのワークをしてもらう前に、私も同じワークをしてみました。私はこのように表現をしました。(講師の作品を例として示すことで、○だけで表現するというワークの説明とする。同時に○以外で表現している間違っサンプルも提示すると、参加者はより理解をしやすい)</p> <p>カラーペンがグループに1セットずつあるので、色は自由に描いてください。けれど、○(まる) の図形だけで表現してくださいね。使っているのは○だけです。△(三角)や□(四角)は使っちゃだめです。 時間は5分です。</p> <p><b>テーマに沿ってワークシートに表現させる</b></p> <p>皆さん、描けましたか? まだの人もできてるところまでで構いませんよ。</p> <p>自分の描いた「わくわく・どきどき」を今からグループのメンバーに紹介します。まずは絵にタイトルを考えて「タイトル」の欄に書いてみましょう。</p> <p><b>ワークシートに記入させる</b></p> <p>次に、この絵はどんな「わくわく・どきどき」を表現したのかを、ワークシートの「かいたえのしょうかいぶんをかこう。」の欄に2分で書いてもらいます。ワークシートを折り線に沿って、折ったら、絵を説明する文章を書いてください。</p> <p><b>ワークシートに記入させる</b></p> <p>では、グループのメンバーに自分の「わくわく・どきどき」を紹介してください。</p> <p>それではリーダーから順番に自分の「わくわく・どきどき」を紹介してください。描いた絵をグループのメンバーに見えるように持ってください。</p> <p><b>リーダーに発表をさせる</b></p> <p>リーダーの発表が終わりましたね。 では、リーダーの発表を聞いてどうだったのか、感想カードに感想を書きましょう。</p> <p>書いたらリーダーに渡してください。 リーダーは感想カードをもらったら、ワークシートの〈ともだちにもらったかんそうカードをはろう〉の欄に貼りましょう。</p> <p>ではリーダーの左隣の人、次、発表をお願いします。</p> <p><b>講師の進行で順番に発表をさせ、感想カードを書かせる</b></p> <p>全員の発表が終わりましたね。</p> <p>では、皆さんがどんなふうに「わくわく・どきどき」を表現したのか、全員で見てみたいと思います。 各グループから2人ほどに発表してもらいたいの、発表する人を決めたら、発表する人は立ってください。 では○○グループからお願いします。 (発表に対しては相槌を打ったり簡単なコメントをする。)</p>

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
展開 35分 続き	⑤ワークを通して気づいたことや感じたことをワークシートに記入させる。(3分)	皆さん発表ありがとうございました。拍手〜。  今何人かに発表してもらいましたが、ほかの人が自分と全く同じイラストや紹介文を書いていた、という人はいなかったと思います。絵を描いて、みんなの発表を聞くワークを通して、どんなことを感じたり考えたりしましたか？ワークシートの「かんじたことやかんがえたことをかこう」に書きましょう。 <div>ワークシートに記入させる</div>
	⑥5～6人に発表させる。(6分)	では、何人かに発表してもらいましょう。 (挙手がなかった場合は講師が指名する。発表に対しては簡単なコメントで反応する)  ありがとうございました。皆さん、それぞれ、感じたことや考えたことがあったようですね。
まとめ 2分	4. 人それぞれの違いを大切に認め合い、個性を楽しむということを伝える。	
	1) 人それぞれ感じ方や表現の仕方が違うため、ワークによってできあがったものが違うことを伝える。  2) モノの感じ方や表現の違いは各々の個性であるため、自分らしく楽しむように伝える。	今日、始めに私が「皆さんそれぞれの「感じ方」「考え方」を大切にしたいと考えています」と言ったのを覚えていますか？感じ方は人それぞれ違うから、皆さんが表現してくれた「わくわく・どきどき」も違うものができあがりました。この感じ方や表現の違いを「個性」といいます。  「個性」は自分らしさなので、人と違うから間違っているとか、人と同じようにしなければならぬなどと思うのではなく、自分らしさを楽しんでほしいと思います。  本日はこれで終わります。ありがとうございました。

活動におけるワンポイントアドバイス

- 1

サンプルの提示をしましょう。

- ワークに入る前に、○だけで表現したサンプルと○以外で表現している間違っただけのサンプルを提示し、見くらべさせて条件の把握をさせましょう。
- 2

考えを引き出すサポートをしましょう。

- 表現した絵の説明文を書くことが困難な参加者には「たくさん色を使っているね」「○がたくさんあるね」などの声掛けをし、参加者の考えを引き出すことを試みましょう。参加者の発言を、そのままワークシートに記入させてもよいでしょう。
  - どうしても書けない参加者には、無理に書かせないようにしましょう。
- 3

ワークのすべてをできなくてもかまいません。

- 自分の作品の開示や発表を嫌がる参加者に、無理にすべてのワークをさせる必要はありません。作品の開示や発表を嫌がるようなら、「見せてくれてもいいよって思ったら声かけてね」などの声掛けをし、それ以上の要求をしないようにしましょう。
- 4

発表も学びの一つです。

- 共有の際には、メンバーに作品が見えるように発表の仕方にも配慮しましょう。ワークシートが折り線に沿って折られていない参加者には、折るように声掛けをし、作品がメンバーに向けられるように指示しましょう。